

秋田市駅前広小路商店街振興組合

～中心市街地の賑わい創出に向けた取組～

■組合の紹介と事業の背景

当商店街は、JR秋田駅前を中心とする南北約400mの街区に駅ビルや百貨店、専門店等の大型商業施設が立地しており、従来からの固定客である高齢者の他、最近では飲食店が増加したこともあり、若年層の来街者が増加しています。

しかし、昨年4月の消費税増税等の影響により、お客様である消費者の購買意欲が低下しており、組合員である各個店の売上が減少傾向にあるため、強い危機感をもっています。

■事業活動の内容 ～地域住民参加型による商店街活性化事業及び施設整備事業の実施～

当商店街の活性化事業が本格化するきっかけとなったのは、地域住民を対象に実施したアンケート調査結果において、当商店街にほしい機能として、安心安全やコミュニティ、イベントが上位を占め、実施してほしいイベントでは、食イベントやイルミネーション等の要望が多かったことでした。

このため、当商店街では「元気発信、出会い、ふれあい」のコンセプトの下、国や市の補助金を有効に活用し、季節毎の商店街活性化イベントの実施の他、安全・安心に配慮したまちづくりを図るべく、平成23年に省エネ型のLED街路灯を街区内に設置、平成25年には、秋田中央警察署と連携し防犯カメラを設置し、来街者が安心して買い物が出来る街づくりを行ってきました。

また、平成26年度は、商店街活性化イベントの実施にあたり新たな試みとして、地元の大学生達を巻き込んだ形でイベントを開催し、当商店街から若年層に対する新たなメッセージの発信と地元大学生達からの口コミを含めた当商店街のPRに繋げています。



【LED街路灯の設置】



【路上ライブイベント】

■事業の成果と今後の展開 ～新たな「気づき」により幅広い年齢層に受け入れられる商店街へ～

当商店街では、従来からの定番イベントの単なる継続ではなく、商店街の来街者層を踏まえた形で新たなイベントを企画し実施してきたことにより、当商店街の個店スタッフから「新規イベント開催の経験を生かし、来年はより充実したイベントを」という声が上がっています。また、商店街関係者の活性化への意識も向上し、新たな「気づき」を積極的に捉えるようになったことは、商店街活性化事業を実施する上で大きな収穫となっています。

平澤理事長は、「商店街活性化イベントの実施により、『駅前では常に何かが行われている』という意識を来街者に植え付けることが重要である。今後は、地域住民とのふれ合いの機会を創り出し、幅広い年齢層に受け入れられる商店街づくりを目指し、来街者の満足度の向上を図っていきたい。」と抱負を述べられました。

【組合の概要】

- 所在地 秋田市中通二丁目4-4
- 代表理事 平澤 孝夫
- 出資金 585,000円
- 組合員数 24名
- 主な事業 販売促進事業、環境・整備改善事業等
- 成立日 昭和43年4月30日